

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (四国)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	コンビニ（店 長）	単価の動き	・客単価が少しずつ上昇している。
		家電量販店（店 員）	販売量の動き	・暑い日が続き、猛暑予想の影響も受けて、エアコン や扇風機の売上が大きく伸びている。
		その他専門店 〔酒〕（経営 者）	来客数の動き	・梅雨も明け、お中元の時期に入り、大変忙しい。
		その他小売 〔ショッピング センター〕（副 支配人）	お客様の様子	・バーゲン期に入り、力強さはあまり感じられないもの の、売上は前年を上回っている。
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・例年よりも遅い印象を受けるが、ようやく夏商戦が 本格化してきた。
		通信会社（営業 部長）	販売量の動き	・商品販売数が前月比15%増えている。
		美容室（経営 者）	来客数の動き	・暑いので来客数が多い。
	変わらない	商店街（事務局 長）	来客数の動き	・世界経済の先行き不透明感が強まっている。一般消 費者は、イベント性の高いものには出費するが、全般的 には生活防衛色が濃く、財布のひもは固い。
		一般小売店〔文 具店〕（経営 者）	お客様の様子	・本当に必要最小限の物しか購入しない。
		一般小売店〔生 花〕（経営者）	来客数の動き	・日中の暑い時間帯は客足が鈍く、夕方頃の来店が多 い。遅い時間の来客数は大幅に減っている。
		百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・セールは好調なスタートを切り、中旬も堅調を維持 しており、月間では前年を上回る見込みである。ただ し、天候(猛暑)の影響を除くと、消費回復は不透明な 状況にある。
		スーパー（企画 担当）	来客数の動き	・来客数が前年を下回って推移している。さらに前月 以上に客単価が落ちたため、売上も伸びない。
		スーパー（財務 担当）	単価の動き	・来客数は前年割れているが、買上点数が前年並み に回復してきている。
		コンビニ（総 務）	来客数の動き	・前年より来客数が改善し、売上も伸びているのは猛 暑の影響で、一時的なものだ。景気回復ではないと考 える。
		コンビニ（商品 担当）	販売量の動き	・継続的な施策を実施しているが、販売量は前年を上 回らないままの状況が続いている。
		衣料品専門店 （総務担当）	販売量の動き	・売上は前年比3%程度マイナスで推移している。来 客数に変化がなく、客単価も低下しており、客の購買 意欲は低い。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・夏のボーナスシーズンを迎えても、売上に影響がな く、例月と変わらない。3か月前と比べても、良くも なく悪くもない。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・燃費問題及び税制の変更等で軽自動車の販売台数が 伸びず、普通車が軽自動車を上回っている。普通車 の販売台数比は、軽に逆転される前に近い水準まで回復 してきている。
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・7月単月では当店の販売台数は前年を上回ったが、 県内の軽自動車市場は前年を割り込んでいる (98.6%)。
	乗用車販売店 （役員）	販売量の動き	・6月に比べて受注のペースが少し遅くなっている。	
	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・お客は、景気動向を見ながら何かに備えて様子見を しているようだ。普通に生活しながら何かを待ってい る、そんな感じを受ける。	
	観光型旅館（経 営者）	来客数の動き	・宿泊や宴会は少し増えたが、売上はあまり変わって いない。	
	都市型ホテル （経営者）	単価の動き	・来客数が若干減っており、客単価の下落にも歯止め がかかっている。景気は良くも悪くもなっていない。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・ピヤガーデンが始まったのに、3か月前と変わらな い。ピヤガーデン会場から電車に乗ってそのまま帰宅 する人が増えている。	
	通信会社（支店 長）	販売量の動き	・夏商戦期にあるが、従前と比べて大きな動きは感じ られない。	

		通信会社（企画）	お客様の様子	・商品の引き合い件数、契約件数とも前月とほとんど変わらない。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・予約状況は3か月前と変わっていない。7月はキャンセルが多く、土日も伸び悩んでいる。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・低額で入札する業者が出てきた。
やや悪くなっている		商店街（代表者）	お客様の様子	・夏のバーゲンを待っていた人がかなりいたはずなのに、バーゲン初日に行列ができた店はほとんど無かった。消費者の財布のひもは固く、かなり厳しい状況が続いている。
		商店街（代表者）	それ以外	・20年以上も協議した中心市街地活性化計画が白紙になった影響は大きい。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	単価の動き	・消費マインドが落ち込んでいる。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・雑誌の売行きが落ち、定期購読の部数も減っている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・気温が高く、来客数も買い上げ点数も減少している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・低価格商品を扱うドラッグストアなどに客が流れ、販売点数や来客数が伸びない。安価な商品が売れているということは、景気が良くないことの表れではないか。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・コンビニは夏場に売上のピークを迎えるのだが、ここ2年ほどは前年を割り込んでおり、今年も回復の兆しが見えない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・セール期を迎えても来客数は前年割れで、客単価もかなり低くなっている。他県の同業者も同じらしく、四国の景気はあまり良くない。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・7月の売上は前月比10%減、3か月前比3%増、前年比5%減となった。7月は大きなレースもなく、休日の売上が伸びず、本場を3日間閉場した影響も大きい。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・今年前半は来場者、契約は順調にきているが、最近では来場者が減っている。
悪くなっている		一般小売店〔酒〕（販売担当）	お客様の様子	・消費者の専門店離れが著しい。特に、酒類はスーパーやドラッグストアなどの大型店での購入が多い。
		タクシー運転手	来客数の動き	・瀬戸内国際芸術祭が始まって観光客は増えているが、タクシーにその効果はない。お遍路の仕事も、暑い時期は期待できない。
企業動向関連 (四国)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・化粧品のフェイスマスクや重曹電解クリーナーの売上が好調で、販売量が伸びている。
		電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・得意先への販売量が増加している。ただし、最終消費者の購買が増加している要因は限定的で、大部分が得意先の在庫政策に伴う当社販売増であろうと判断している。
	変わらない	農林水産業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・市場入荷量が少なく、高単価で推移している。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ギフトカタログ業者向けの売上が減ってきているのは、インターネットの普及が要因であると思われる。当社の販売先の大半が小売店なので、小売店への直販比率を上げていきたい。
		木材木製品製造業	受注量や販売量の動き	・消費税増税の再延期により駆け込み需要を期待できなかったが、現在の低金利は少なからず住宅購入を検討している人を後押ししている。
		鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・スポット受注があったので受注量は増加したが、景気上向きとは言えない。
		建設業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注高、受注残高ともに横ばいであり、景気は変わらない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・最低限の受注は確保できているが、やはり公共工事は少ない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共事業が前倒し発注されている。自治体事業には偏りがあるため、業者によって良し悪しはあるものの、総じて大きな落ち込みもなく、想定外の追加発注もない。しかし、大手の受注量が増えており、地方の中小企業は苦戦している。

	輸送業（経営者）	取引先の様子	・選挙でバタバタした感じがあったが、少し落ち着いてきた。	
	金融業（副支店長）	取引先の様子	・資金需要動向は業種によってやや偏りは見られるものの、総じて低調とも旺盛とも言えない印象を受ける。	
	公認会計士	取引先の様子	・前年と比べてあまり動きはない。建設業等で若干売上が増えているところもあるが、利益面ではほとんど変わらない状況が続いている。	
	やや悪くなっている	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内需要は堅調に推移しているが、地域や顧客によって稼動にばらつきが見られ、まだら模様の展開である。海外需要は減少している。
		輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・地元官民発注の工事において、資材の値上がりや職人不足が要因で入札自体が不成立となる事例も相次いで見受けられる中、工事に使用される原材料等の輸送物量が依然低調に推移していることから、景気の低迷を強く感じる。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-	-
(四国)	やや良くなっている	人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・消費者の購買意欲は、スーパー等では前年並みで、お中元も昨年と同等程度流通しているようだ。しかし、百貨店では売上が減少し、厳しい状況である。ブランド志向から価格志向への顕著な移行が目立った。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・派遣スタッフとしてこれまで登録に来ていた労働者層の動きが鈍化しており、登録者数の伸長が芳しくない。
		新聞社 [ 求人広告 ]（担当者）	それ以外	・広告業界ではここ3か月、目立った変動は感じない。
		民間職業紹介機関（所長）	採用者数の動き	・中小企業の今年度採用はほぼ終了している。採用数は前年並みか、微増という企業が多い。ただ、零細企業の多くは採用できず、引き続き採用活動を行う企業が多い。
		学校 [ 大学 ]（就職担当）	それ以外	・求人状況はこれまでと同じで、採用担当者からも景気が上向いている話は聞こえてこない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・一般的に派遣業に対する依頼が少なくなってきた。短期の依頼が多い傾向もみられる。
		求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・中途での人材採用難が多くの業種で続いている。また、来春の新卒採用が順調ではない企業も多数見受けられ、事業計画の変更を考える企業も見られる。
		職業安定所	それ以外	・6月の有効求人倍率は1.28倍で、3か月前の3月(1.39倍)と比べて0.11ポイント下落した。
	悪くなっている	-	-	-